

私たちの道

—— MC WAY を感じる ——

アシスタントとコンサルタント両業務の視点から得た体験について

1. 案件開始前後の変化

- ・ 今期から、コンサルアシスタント業務を担当すると同時に、人事コンサルタント業務もスタート。業務内容、対応スピード、スケジュール管理など戸惑った時期がある
- ・ 基本依頼者の決まりがあって実行する（コンサルアシスタント業務）役割から、自分で資料の構成や内容を考えながら作成する役割になり、一から勉強することが増えた

2. 実際に案件をおこなって気づいたこと

- ・ お客さまとの対話の中で「真の課題」を洗い出すためには、「コミュニケーション力」と「信頼関係」を築く事が大切であること
- ・ コンサルタントとしての提案力、多くの対話から課題をまとめるためには「専門性」と「思考力」が重要であること
- ・ 資料作成には多くの情報の収集と、全体的な視点を鍛えなければいけないこと

3. アシスタントとコンサルタントを両立する上での今後の対応

- ・ 自分の欲しい情報をもらえるためのコミュニケーション能力を引き続き鍛える
→ 実践と仮説のギャップを分析し、自分から意図的かつ具体的に質問を出すことを考える
- ・ 作業の効率化
→ 現場で得たことをいかにコンサルアシスタント業務に反映できるのかを自分の課題とする
→ 課題発見→ケースバイケースな対応から、さらに汎用性のあるフォーマットを設計する（賃金分析第二フェーズ、人事評価項目など）
- ・ 挑戦と成長
→ 多くのアサイン（机上の勉強と実務経験によって業務の幅と質を自分でUP）→ いただく課題を分析（仮説）
→ 実行→内省→実行のプロセスを繰り返して、成長していく